

東京都

体育授業優秀教員名 菊地 由記 (きくち ゆき)

(満39歳 昭和55年7月13日生)

1 推薦の理由

菊地主任教諭は、東京都小学校体育研究会における「多様な動きをつくる運動（遊び）部会」において、部長（2年）副部長（3年）を務めた。その間、「授業実践に基づいた研究こそ本当の研究である」との信念に基づき、研究を推進した。

令和元年度には、杉並区における幼保小連携教育研修会において「かしこい体 たくましい心」を育む指導法について、約160名の参観者の中で授業公開を行った。多くの参観者から「遊び」と「運動遊び」をつなげていくことの必要性を感じ、今後、保育に活かしていきたいとの感想が寄せられた。さらには、子供園や幼稚園で行われている遊びを、ただ遊ばせるだけでなく、多様な運動パターンとそのバリエーションを経験するように指導していることを評価された。以上のことから、被推薦者は、研究の推進、授業実践の両面から優れた教員である。

2 被推薦者の「体育授業」の特徴、指導効果、その成果の汎用性、成果を証明する資料等

菊地主任教諭の授業は、単元の導入、毎時間の導入を大事にし、子供のやる気を引き出し、「楽しい！」「もっとやってみよう！」という気持ちにして、意欲の継続を図っている。教師の説明も簡潔明瞭である。授業で大切にしていることは、まず「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指して学習を展開し、主体的に取り組む態度の育成を図るとともに、その過程で、3つの資質・能力をバランスよく身に付けられるように、子供に対しての働きかけを行っている。これらの取組が、友達と一緒に取り組んだり、よい動きを自ら見つけようとしたりする「思考力、判断力、表現力等」を発揮させている。そして、その結果として「知識及び技能」を身に付けさせる等、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた素晴らしい授業実践を行っている。

また、子供の意欲に火をつけるための導入を工夫するために、自ら様々な学年で授業を行うとともに、研究部会の部員も授業を通して児童の変容を記録し、その検証結果を基に、教師が子供の動きを見取りやすいような学習カードや学習資料集

を作成している。そのなかでも、教師が授業中の働きかけに活用することができる、「こつを子供の声で集めた価値付けガイド」、子供自身が、何ができるようになったかを意識できる「学習カード」は、教員が指導していく上での貴重な資料となっている。

最近では、これらの取組や研究成果をもとに、体育科のよい授業とはどのような条件がそろっているかを分析し、構造化を図っている。具体的には、「子供たちの意欲を引き出す導入が工夫されていること」「簡潔な説明や場面の切り替え等テンポがよい授業であること」「ねらいが子供一人一人に応じていて明確であること」「教師の働きかけが具体的かつ意図的であること」が挙げられている。

ここに示されている資料等は東京都小学校体育研究会ホームページや多様な動きをつくる運動（遊び）領域部会内に掲載されている。

3 公的な大会・研修会等で発表した授業実践や講習会の講師を務めた講習内容等の概要

平成25年度に行われた全国学校体育研究大会東京大会の天沼会場の担当として、運営に携わった。

平成26年・27年の2年間、東京教師道場（体育）として、授業を通じた実践的研修に取り組み授業力の向上を図った。

平成28年度には、東京都開発研究委員として改訂される学習指導要領を先取りした3つの資質・能力に着目した先進的な研究に取り組んだ。

平成29年度・30年度には、東京都小学校体育研究会における「多様な動きをつくる運動（遊び）部会」の部長として、改訂学習指導要領に示された「学びに向かう力・人間性等」着目し、導入の工夫についての授業実践を積み重ねた。

4 勤続年数 16年

5 職歴

平成16年 昭島市立光華小学校教諭

平成21年 杉並区立永福小学校主任教諭

平成27年 杉並区立桃井第三小学校主任教諭